

シグマ研究委員会核データ専門部会FP核データワーキンググループ会合議事録

日 時： 平成2年5月1日 13:30~17:30

5月2日 9:10~17:30

場 所： 日本原子力研究所 東海研究所 研究2棟 222室および304室

出席者： 中川、中島、杉（原研）、松延（住原工）渡部（川重）、佐々木
（MAPI）、川合（東芝）

配布資料：共鳴パラメータサブグループ会合議事録（4/11,12、4/26,27）

スムーズパート・サブグループ会合議事録（4/17,18）

FPND-90-01 JENDL-3 FP データライブラリー のFile 1 作成進捗状況
（1990.4.27 現在）

議 事

1. 一般報告（中川）

今年度核データ研究会は、中国から一人招待できることになった。

核データ専門部会グループリーダー会合で専門部会の組織変更が審議され、
評価ワーキンググループの各サブワーキンググループは、全てワーキンググ
ループとして独立することになった。

2. 前回サブグループ会合議事録の確認

4/11,12と4/26,27の共鳴グループ、4/17,18のスムーズパートグループの議事録
確認を行った。

3. JENDL-3 FPデータライブラリー のFile 1 作成進捗状況の報告（川合）

配布資料FP-90-01 基づいて 4.27（共鳴グループの会合）現在のJENDL-3 FPデ
ータライブラリーのFile 1作成進捗状況の報告が報告された。

4. File 1 データ作成集中作業

以下の成果があった。

・共鳴パラメータ

松延：43核種中、今回の7核種を加え、30核種分終了した。残りは、Kr-84, Rb-85, 87, Sr-86, 87, 88, I-127, 129, Xe-131, 132, Cs-133, 135, 137である。

中島：担当の7核種全て終了していたがCd-113の見直しを行った。

川合：71核種について、結果の見直し作業を行った。

・非分離共鳴パラメータ (渡部)

データ作成を一通り終えた。なお、パラメータの系統性を用いてきめたものは、改めて見直しを行い、その評価過程を表にまとめた。

・光学模型パラメータ (佐々木)

データ作成を一通り終えたが、一部不明なものがあり、改めて作る予定である。CASTHY 入力データとメモに矛盾のあったのは、Ba, Gd であった。なお、ファイルにおいてPr, Pm の全断面積は、計算値を実験値で置き換えた。

・レベルスキームと非弾性散乱断面積 (川合)

データ作成を一通り終えた。なお、レベルスキームについて、ENSDF から採ったものについては、Nuclear Data Sheets 出典も併記した。

・中性子捕獲断面積 (中川)

規格化条件を表にまとめるとともに、130 核種分のデータを作成した。なお、規格化の条件不明なものが7核種あり、今後調査する。

・しきい反応断面積 (杉)

評価の際、実験データによって、kalbach の定数を決めるか、実験値をなぞった15核種を除いて全て終了した。

5. 今後のスケジュール

残りの分については、このためにワーキンググループ会合は特に開かず、各自が適宜進めることにした。ファイル作成の進行を中川委員が見張り、出来上がったものから RENUM コードによる参考文献の番号付けの作業を行う。結果は、全員に回覧し、確認あるいは修正のコメントを付ける。回覧は6月一杯で終わることを目標とする。

6. その他

(1) 原子力学会秋の大会での発表について

6/25 が発表申込の締切のため、主要メンバーで対応することにした。やり方は、川合委員に一任とした。

(2) 次回会合

日時：7月9日10:30 ~ 17:30

場所：川崎重工（株）貿易センタービル

議題：コメントファイル作成結果の確認、検討作業

秋の大会の発表について

その他

以上